

流域連携基金イメージソング

筑後川にて 作詞、作曲、歌/加藤淳也 (シンガーソングライター、ラジオパーソナリティ/那珂川町出身)

1 水面に映る空の青に あなたをかさねてみた
元気でいますか? 変わりはないですか?
今日もどこかで笑ってますか?

河川敷から投げた石が 水のうえ走ってく
うまうまかなくて ぶてくされたりして
人は今日だって育まれる

とめどなく とめどなく
流れ続ける中で 守られる景色も そそがれる愛も
全部全部 感謝しよう

筑後川がせせらいでる まだ見ぬあなた想ってる
森のめぐみ 海のめぐみ それをつないでる川のめぐみ
人の出会いとよく似てる まだ見ぬ友よ元気でいますか?
そんなふう生きてるから 川の流ればあなたそのもの

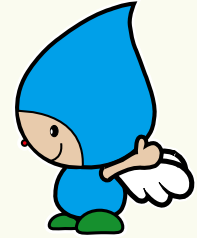
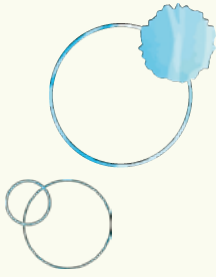
2 土手にしゃがんだ筑後の花火 みんなで見上げながら
夜空ハジケタ 誰かさんの記憶
水辺で見つけた少年の笑顔

街の灯りが優しくうつる 流れをながめながら
虫の鳴き声 季節を越えていく
清らかさゆえに育まれる

いつだって いつだって
ゆるやかで優しくて 守られる景色も そそがれる愛も
全部全部 感謝しよう

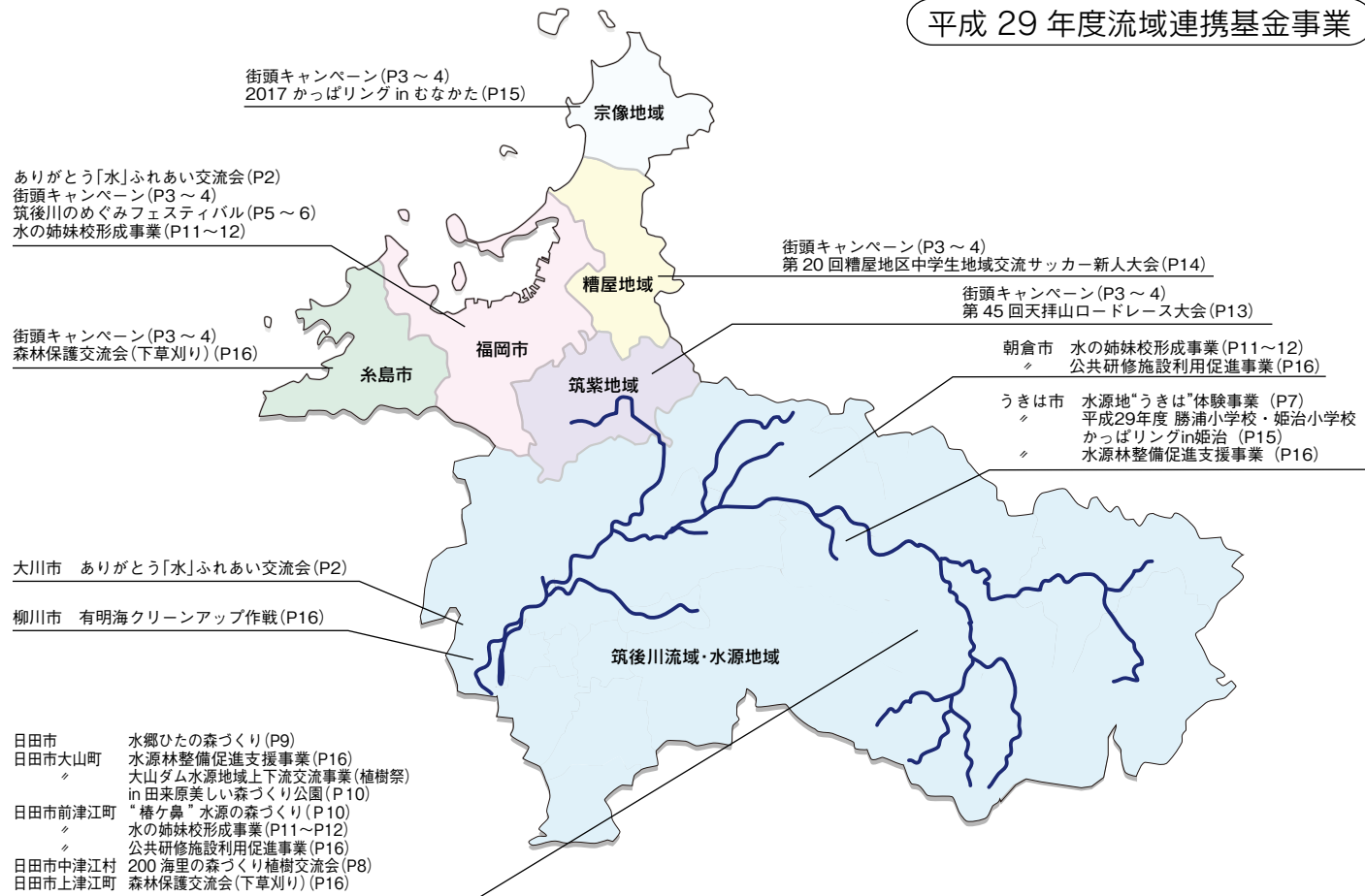
筑後川がせせらいでる まだ見ぬあなた想ってる
森のめぐみ 海のめぐみ それをつないでる川のめぐみ
人の出会いとよく似てる まだ見ぬ友よ元気でいますか?
そんなふう生きてるから 川の流ればあなたそのもの

筑後川がせせらいでる まだ見ぬあなた想ってる
森のめぐみ 海のめぐみ それをつないでる川のめぐみ
人の出会いとよく似てる まだ見ぬ友よ元気でいますか?
そんなふう生きてるから 川の流ればあなたそのもの
僕そのもの



- 福岡都市圏になくてはならない筑後川に感謝を込め、また、流域連携基金事業を広くPRするためのイメージソングです。
- 福岡都市圏ホームページ (<http://www.fukuoka-toshiken.jp/>) でダウンロードできます。ぜひお聴きください。

平成29年度流域連携基金事業



事業組合 構成

福岡地域/福岡市
筑紫地域/筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川町
糟屋地域/古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町
宗像地域/宗像市・福津市
糸島地域/糸島市

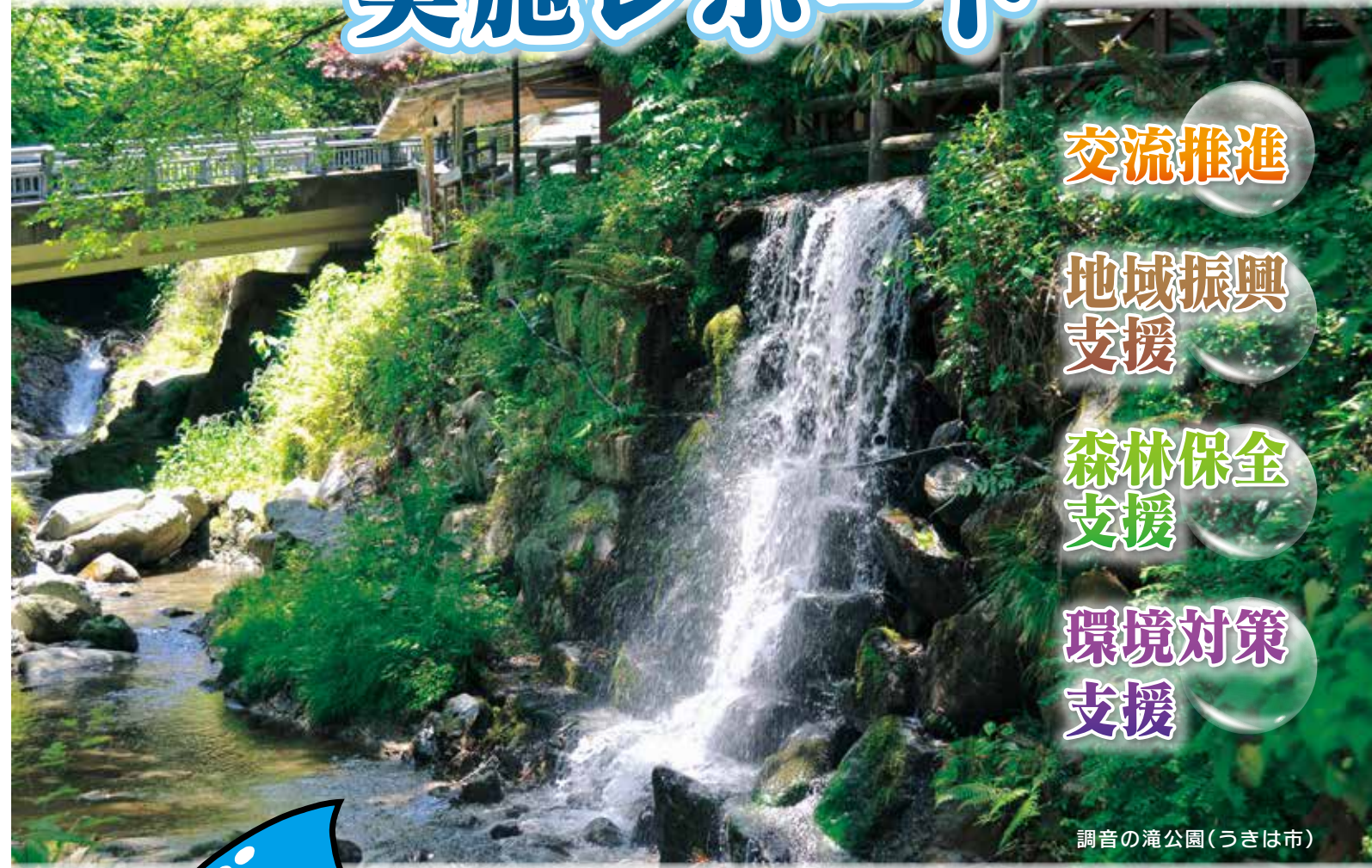
編集・発行

福岡都市圏広域行政事業組合
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1
TEL 092-733-5004 FAX092-733-5005
[メール] fvgv9840@mb.infoweb.ne.jp
[ホームページ] <http://www.fukuoka-toshiken.jp/>

発行/平成30年3月
印刷/株式会社 西日本高速印刷

平成29年度
福岡都市圏広域行政事業組合

流域連携基金事業 実施レポート



交流推進

地域振興
支援

森林保全
支援

環境対策
支援

調音の滝公園(うきは市)



流域連携基金キャラクター
「ちっこりん」

福岡都市圏の水道水の約 1/3 は、
筑後川の水です。

ご挨拶

福岡市・筑紫地域・糟屋地域・宗像地域・糸島市を圏域とする福岡都市圏の17市町で設立した福岡都市圏広域行政事業組合は、圏域に共通する行政課題に対応するため、様々な事業を共同で実施しています。

福岡都市圏には、現在約250万人が暮らしていますが、私達の生活に欠かせない水道水の約3分の1は、筑後川から取水した水です。

このため、当事業組合では、筑後川流域・水源地域の住民の皆さんと交流・連携し、相互理解を深めることを目的に、平成17年4月に「流域連携基金」を設置し、交流推進事業や地域振興・森林保全・環境保全を支援する事業を行っています。

昨年7月に発生した九州北部豪雨により、筑後川流域およびその水源地で甚大な被害が発生しました。被害に遭われたすべての皆様には心からお見舞い申し上げます。あわせて、地域の皆様が「水」という恩恵とともに、自然の厳しさとも向き合って生活をされていることを改めて認識いたしました。

平成29年度には、高校生や大学生を対象とした水源地での交流・森林保全事業を地元の高中生や住民の方々と共に初めて開催することができました。次世代を担う子ども達や若者に今以上に「水環境」に関心を持っていただき、福岡都市圏と筑後川流域等が互いに連携し、交流を深め、被災地において一日も早い復興ができるよう取り組みを進めてまいります。

福岡都市圏の住民の皆様には、これからも筑後川への「感謝」の気持ちを忘れずに、水を大切に使用していただくとともに、森や川を守り育てる活動に積極的に関わっていただくことを期待しております。

今後とも、筑後川の水源地域・流域との交流・連携を積極的に進めてまいりますので、皆様方のご理解となお一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

平成30年3月

福岡都市圏広域行政事業組合
管理者 高島 宗一郎



目次

交流推進事業

福岡都市圏「水」キャンペーン2017
 ありがとう「水」ふれあい交流会…………… 2P
 街頭キャンペーン…………… 3～4P
 筑後川のめぐみフェスティバル…………… 5～6P
 水源地「うきは」体験事業…………… 7P
 200海里の森づくり植樹交流会…………… 8P
 水郷ひたの森づくり…………… 9P
 “椿ヶ鼻”水源の森づくり…………… 10P
 大山ダム水源地域上下流交流事業（植樹祭）…………… 10P
 水の姉妹校形成事業…………… 11P～12P
 かっぱリング事業…………… 13P～16P
 有明海クリーンアップ作戦…………… 16P

地域振興支援事業

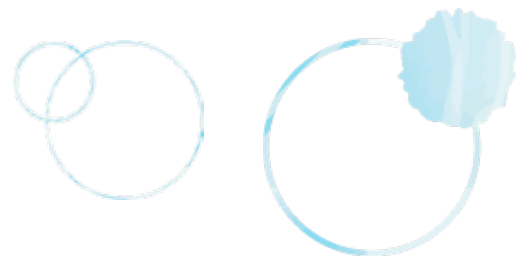
水源地公共研修施設利用促進事業…………… 16P

環境対策支援事業

環境対策支援補助金交付団体…………… 17P
 災害見舞金…………… 18P
 流域連携基金審議会…………… 18P
 流域連携基金「イメージソング」……………裏表紙
 平成29年度流域連携基金事業実施場所……………裏表紙

森林保全支援事業

水源林整備促進支援事業…………… 16P



福岡都市圏「水」キャンペーン2017 ありがとう「水」ふれあい交流会

- 実施日/平成29年8月4日(金)
- 場所/福岡タワー、海水淡水化センター(まみずピア)、マリンワールド海の中道

大川市(25名)と福岡都市圏(22名)の小学校5・6年生が、福岡タワーや海水淡水化センター(まみずピア)、マリンワールド海の中道での交流会やクイズ大会、施設見学を通して、水の大切さを学びながら交流を深めました。

大川市

普通に使っていたのにこんなに人の努力がたくさんあって作られたとは思わなかったので、これからは大切に使いたいです。先生や学校みんなにも伝えたいです。大川市の良い所を相手に伝えたり、仲良く交流したりできてよかったです。

普通に水が出ているので、あたりまえと思っていたけど、そのあたりまえがあるのはいろんな人の工夫や、努力があってこそなのだ改めて実感しました。福岡都市圏の小学生と仲良く交流できたと、楽しく水について学ぶことができてよかったです。

都市圏

水はいろいろな人たちによって綺麗にされているという事を知って感謝して飲もうと思いました。また福岡都市圏の3分の1は、筑後川からもらっているという事にも感謝して飲みたいです。友達もたくさん出来たのでまた行きたいです。

いつも蛇口をひねったら水がでてくるけど、出てこない国もあるので水に感謝したいです。大切な物だと知って無駄なく使いたいです。いろいろな体験や見学を通して、水について学べて、たくさん友達もできて楽しかったです。

福岡タワー

手作り名刺交換会の後、大川市の小学生が考えてきた大川市の家具や特産品などに関するクイズ大会を行いました。また、展望室に上がり、班ごとに福岡都市圏を一望しました。



まみずピア

海水淡水化の仕組みを学んだ後、施設を見学しました。「海水淡水化水」と「水道水」の飲み比べもしました。



マリンワールド

平成29年4月にリニューアルオープンした新しい施設を見学しました。迫力満点のイルカやアシカのショーに子ども達も大興奮でした。



福岡都市圏「水」キャンペーン2017 街頭キャンペーン

- 実施日/平成29年8月1日(火)～8月4日(金)
- 実施場所/福岡都市圏各市町

福岡都市圏の各市町では「水の週間」にあわせ、市・町長をはじめ職員267名が住民に福岡都市圏「水」キャンペーン2017のチラシと有明海産「福岡有明のり」を配付しながら、「水をたいせつに」の呼びかけを行いました。(都市圏全体で20,000部配布)



福岡市

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/JR博多駅 博多口、筑紫口
- 実施者/福岡市長、九州地方整備局河川部長、福岡県水資源対策長、福岡市水道事業管理者、福岡市水道サービス公社常務理事、福岡地区水道企業団企業長



古賀市

- 実施日/平成29年8月1日、4日
- 実施場所/市役所ロビー、JR古賀駅
サンリブ古賀店、ルミエール古賀店
- 実施者/市長、建設産業部長、総務部長、市民部長、水道課長



宇美町

- 実施日/平成29年8月2日
- 実施場所/JR宇美駅前広場 他
- 実施者/町長、上下水道課長、新入職員



粕屋町

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/ミスターマックス粕屋店
- 実施者/副町長(2名)、上下水道課長



志免町

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/ルミエール志免店、ジョイント志免店
TSUTAYA BOOK GARAGE 福岡志免店
ザ・ビッグ福岡空港東店
- 実施者/町長、上下水道課長



須恵町

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/JR須恵中央駅、トレードマート須恵店
- 実施者/町長、理事、上下水道課長



新宮町

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/JR新宮中央駅、JR福工大前駅
- 実施者/町長、副町長、上下水道課長



筑紫野市・山神水道企業団

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/JR二日市駅、JR原田駅、JR天拝山駅
西鉄二日市駅、西鉄朝倉街道駅
- 実施者/市長、環境経済部長
上下水道料金総務課長



春日市

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/西鉄春日原駅、JR春日駅
- 実施者/市長、副市長、経営企画部長、下水道課長



大野城市

- 実施日/平成29年8月2日
- 実施場所/イオン大野城店
- 実施者/市長、上下水道局長、企業総務課長



久山町

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/トリアス久山
- 実施者/副町長、上下水道課長、課長補佐



篠栗町

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/JR篠栗駅前
- 実施者/町長



太宰府市

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/ルミエール太宰府店、西鉄都府楼前駅
- 実施者/市長、都市整備部公営企業担当部長
上下水道施設課長、上下水道課長



那珂川町

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/JR博多南駅、I-75那珂川店、サニー那珂川中原店
- 実施者/町長、副町長、総務部長、経営企画課長



春日那珂川水道企業団

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/西鉄春日原駅、JR春日駅、JR博多南駅
- 実施者/企業長(那珂川町長)、副企業長(春日市長)、
局長、総務課長、施設課長、浄水課長



宗像地区事務組合(宗像市)

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/道の駅むなかた
- 実施者/宗像市長、経営施設課長



宗像地区事務組合(福津市)

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/ふれあい広場ふくま
- 実施者/福津市長、局長、次長



糸島市

- 実施日/平成29年8月1日
- 実施場所/イオンスーパーセンター志摩店
JR筑前原駅、JR波多江駅
- 実施者/市長、水道部長、水道課長、
下水道課長、業務課長、水道課長補佐、
下水道課長補佐



筑後川のめぐみフェスティバル (第31回筑後川フェスティバルin福岡)

- 実施日/平成29年10月14日(土)・15日(日)
- 実施場所/福岡市役所ふれあい広場

福岡都市圏で使用する水道水の約3分の1を筑後川に頼っていることを都市圏住民に知っていただき、筑後川への「感謝」の気持ちを喚起することにより、筑後川流域の方々と交流や川や森を守り育てる活動につなげるため、フェスティバルを開催しました。



飲水資源コーナー



筑後川水のめぐみパネル展示・ダム模型展示(筑後川ダム統管理事務所)

流域連携基金キャラクター
「ちっこりん」



オープニングセレモニー



福岡大学「鼓舞猿」による
オープニング太鼓



福岡を流れる8つの河川から持ち寄った水を
海に見立てた器に入れて、
「水」への感謝をささげる「水合わせの儀」



福岡都市圏広域行政事業組合議会議長
井上澄和 春日市長



井本宗司
大野城市長



利き水コーナー



福岡市水源林
ボランティアの会

筑後川流域交流物産展

筑後川流域や水源地域にある19市町村が参加

- 〔福岡県〕小都市、久留米市、大川市、柳川市、筑後市、広川町、八女市、朝倉市、東峰村、うきは市
- 〔佐賀県〕基山町、みやき町、吉野ヶ里町、神崎市、佐賀市
- 〔大分県〕日田市、九重町
- 〔熊本県〕小国町、南小国町



ステージイベント

「朝倉高校音楽部」による合唱などの発表や筑後川流域交流物産展に出店した市町村による観光PRや物産品が当たる「筑後川のめぐみ抽選会」が行われました。



朝倉高校朝倉音楽部による
團伊玖磨作曲 混声合唱組曲「筑後川」の合唱



パピマシェ



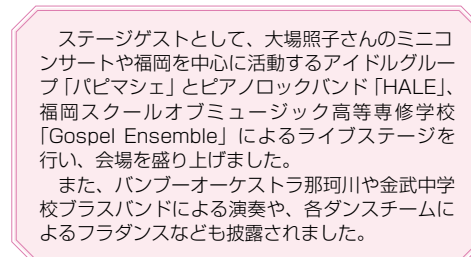
HALE



筑後川のめぐみ抽選会



金武中学校プラスバンド部



ステージゲストとして、大場照子さんのミニコンサートや福岡を中心に活動するアイドルグループ「パピマシェ」とピアノロックバンド「HALE」、福岡スクールオブミュージック高等専修学校「Gospel Ensemble」によるライブステージを行い、会場を盛り上げました。
また、パンパーオーケストラ那珂川や金武中学校プラスバンドによる演奏や、各ダンスチームによるフラダンスなども披露されました。

水源地「うきは」体験事業

- 実施日/平成29年5月27日(土)
- 実施場所/うきは市(長野水神社、妹川(いもがわ)地区、調音の滝、吉井町、にじの耳納の里)
- 参加者/福岡都市圏住民66名(福岡市51名、筑紫地域12名、糟屋地域2名、糸島市1名)

神社の見学や茶摘み体験、疎水巡りなどを通して、筑後川の水と共生してきた歴史や自然豊かな「うきは市」について理解を深め、環境保全や水の大切さを改めて理解しました。

長野水神社

江戸時代初期、筑後川の水を利用するために命を懸けて大石堰・長野用水を作った5人の庄屋を祀った神社です。堰・用水の完成は、うきは地方に新たな恵みをもたらしました。熊抱禰宜(ねぎ)から昔の筑後川の様子を聞きました。



茶摘み・手もみ体験

茶摘み体験はほとんどの参加者が初めての体験でした。一面の茶畑で、どんどん摘みました。摘んだ茶葉はまず釜で炒ります。火を焚くのも杉の枝葉を使う昔ながらの方法でした。炒ってしなった葉を筥(むしろ)の上で揉みました。揉み回す様に乾燥させます。また、民俗資料館から石臼を借りてきて、茶葉を挽き、粉茶作りも行いました。



白壁の町吉井町疎水巡り

うきは市吉井町に移動して白壁の町と呼ばれる吉井町の疎水巡りをしました。長野水神社で学んだ5人の庄屋たちによってつくられた水路や白壁通り江戸末期から明治にかけて建てられた鏡田屋敷や居蔵の館などの白壁の建造物を巡りました。



200海里の森づくり植樹交流会

- 実施日/平成29年11月11日(土)
 - 実施場所/日田市中津江村鯛生金山
 - 事業主催/200海里の森づくり植樹交流会実行委員会
 - 参加者/大野城市26名 篠栗町39名 総数65名
- 水源涵養の森づくりを目指す事業に参加し、筑後川の源流となる鯛生金山の日田市所有山林に植樹を行いました。



植樹交流

「ヤマザクラ」や「ヤマモミジ」の苗木約300本を植樹し、各々手づくりのネームプレートを下げました。



金山体験

砂金採りや坑道入坑を体験しながら、鯛生金山の歴史などを学びました。



篠栗町の田中さん、吉竹さん



大野城市の工藤さん、仁井山さん

水郷ひたの森づくり

- 実施日/平成29年11月18日(土)
- 実施場所/日田市 萩尾公園 他
- 参加者/福岡都市圏の住民49名

日田市主催「市民参加の森づくり」に福岡都市圏からも参加し、日田市民の方と一緒に筑後川への感謝を含めながら植樹しました。



“椿ヶ鼻”水源の森づくり

- 実施日/平成29年10月28日(土)
- 実施場所/日田市大山町 大山ダム、同市前津江町スノーピーク奥日田キャンプフィールド
- 参加者/福岡都市圏(高校生14名、大学生10名)、日田市(高校生8名)

福岡都市圏と日田市の高校生・大学生が、大山ダム施設見学を通して水源地との関わりや水の大切さを理解し、間伐体験を通して山を守る事の大切さを学び、交流を深めました。



大山ダム見学

ダム管理室で、ダムの構造や役割について説明を受けた後、エレベーターを使ってダム内部の見学を行いました。



間伐・枝打ち体験

日田林工高校の生徒の皆さんが、チェーンソーを使って、木の間伐を行い、参加者全員で切り倒した木の枝を落とし、太い幹も玉切りにして、間伐した木を地面に接するよう作業を行いました。



バーベキュー交流会



植樹

「ケヤキ」「ヤマモミジ」「ヤマザクラ」など9種類の苗木を合計で1600本植樹しました。



大山ダム水源地地域上下流交流事業(植樹祭) in 田来原美しい森づくり公園

- 実施日/平成30年2月24日(土)
- 実施場所/日田市大山町 田来原美しい森づくり公園 他
- 参加者/粕屋町32名

福岡都市圏の水がめである筑後川の上流域と下流域の市民が交流を行い、水源地を守る事の必要性について相互理解を深めることを目的とした植樹祭に参加しました。



大山ダム見学

ダム内部を見学しながら、ダムの構造や役割についての説明を受けました。



植樹

とても広い公園に「大山桜」や「河津桜」などの苗木350本を植樹しました。



豆田町散策

植樹作業に取り組んだ後、天領時代の古い町並みが残る豆田町を散策し、お買い物も楽しみました。



梅まつり

梅の花は咲いていませんでしたが、梅園や梅酒蔵などを見学しました。



水の姉妹校形成事業

「水」でつながっている福岡都市圏の小学校と筑後川流域の小学校が、一緒に「水」に関する交流・学習を行いながら、「水の大切さ」や「森を守り育てることの大切さ」を学び、福岡都市圏と筑後川流域の将来にわたる「相互理解」の促進につなげています。

福岡市立堅粕小学校 (163名) - 日田市立前津江小学校 (26名)

●交流日/平成29年6月9日(金)、9月5日(火)

前津江小で、堅粕小の4~6年生と前津江小の全児童が近くの川に2万匹のヤマメを放流しました。また日田林工高の生徒さんから、「水環境と森林の役割」を教えていただくなど交流を深めました。

堅粕小の講堂で、両校の全児童がワークショップ形式により水の学習を行いました。水はどのようにして自分たちのところまで来るのか学ぶことができました。



福岡市立北崎小学校 (51名) - 朝倉市立秋月小学校 (60名)

●名称/北崎小、秋月小 水の姉妹都市交流行事「海山交流」

●交流日/平成29年7月25日(火)、10月20日(金)

秋月小で、両校の6年生が秋月城下の散策や紙すきを体験し、山里の水の文化を中心に交流しました。同じ日に北崎小では、両校の5年生が海釣りや海辺の生き物探索など海辺で交流し、それぞれ親睦を深めることができました。

両校の4年生は、朝倉市のあまぎ水の文化村で合流し、寺内ダムの見学などを通して、水の文化について学習を行いながら交流を深めることができました。



「楽しかった海山交流」
北崎小学校 4年

秋月小の4年生と海山交流で、寺内ダムや水の文化村に行きました。友達がたくさんできてうれしかったです。来年は、ぼくたちが秋月小のみんなに北崎をしようかいするから、もっと仲よくなりたいです。



福岡市立春住小学校 (87名) - 朝倉市立三奈木小学校 (22名)

●交流日/平成29年8月31日(木)、11月17日(金)

両校の4年生が、三奈木小でレクリエーションや学校の敷地内に流れている小川の散策を行いながら、朝倉の自然や水の豊かさに触れて、交流を深めることができました。また、江川ダムを見学することができました。

春住小では、みんなで給食をいただき、海水淡水化施設「まみずピア」や山王公園雨水調整池などを見学し、水に関する学習を行いながら、交流を深めることができました。

私は、水の交流の学習を通して、福岡市は水のこといろいろな場所の人からお世話になっていることや、毎日の水のためにいろいろな人が努力していることを知りました。これからは、水について勉強したことを忘れていきたくありません。使っていくたいと思います。

春住小学校 4年



かっぱリング事業(筑紫地域) 第45回天拝山ロードレース大会

- 実施日/平成29年11月26日(日)
- 実施場所/筑紫野市総合公園
- 参加者/福岡都市圏771人(福岡地域240人、筑紫地域507人、糟屋地域10人、宗像地域12人、糸島地域2人) 筑後川流域254人(福岡県217人、佐賀県37人)

福岡都市圏と筑後川流域のランナーたちが、マラソン大会を通じて交流しました。また、大会後には筑後川の水を福岡都市圏に送る仕組みである「福岡導水」についての学習会を行い、参加した中学生たちは、筑後川への感謝の気持ちを深めていました。

参加者の声 福岡都市圏

筑紫東小学校
横尾 駿人さん
今日の話聞くまで、筑紫野市の水はどこから来ているのかわかりませんでした。なんと筑紫野市の水は、25kmも離れた筑後川から管を通して来ているのです。それを知って、水を分けてくれている筑後川の周りに住んでいる人たちに感謝しながら、水を大切にしていこうと改めて思いました。

参加者の声 筑後川流域

筑邦西中学校
永吉 あきらさん
私は筑後川の水が久留米以外の遠い所まで送られていることを初めて知りました。今までは水を何も考えずに使っていましたが、今日話を聞いて、改めて水の大切さを知りました。また、水がどのようにきれいになっているのか、あまり知りませんが、今日話を聞いてそれもよく分かりました。水の大切さを改めて知り、筑後川の水がどこまで送られているかなど、いろいろ知ることができてよかったです。これからは水を大切にしていきたいです。

担当者の声

筑紫野市上下水道料金総務課
松木 勉さん
当日は、ゲストで世界陸上元日本代表の三津谷祐さんをはじめ多くのランナーが、流域連携基金キャラクターの「ちっこりん」がプリントされたTシャツを着てレースに参加し、大会に華を添えてくださいました。また、大会後に開催した学習会では、筑後川の水が遠く離れた福岡都市圏の生活を支えている現状を知り、参加した中学生たちは大変驚くと同時に水を大切に使う気持ちを深めている様子でした。今回のかっぱリングが、福岡都市圏と筑後川流域の皆さんが交流を深め、筑後川の恵みに感謝する機会のひとつになれば幸いです。最後に、水資源機構筑後川局をはじめ、かっぱリングにご参加・ご協力くださいました皆様にあらためて感謝申し上げます。



トップ選手のゴールシーン



大会ゲストの三津谷祐さん



学習会で質問する参加者

「かっぱリング」とは?

福岡市を除く福岡都市圏の地域を4つの地域(筑紫地域、糟屋地域、宗像地域、糸島市)に分け、文化やスポーツ、水源地域での植樹などを通じて、筑後川流域と福岡都市圏の地域又は自治体単位で行う住民同士の交流事業(福岡都市圏筑後川流域交流推進事業)を「かっぱリング」と呼んでいます。

「かっぱリング」の由来

「かっぱ」で代表される筑後川と交流の輪(リング)を広げ、筑後川流域と福岡都市圏市町の「カップリング」(2つのものの組合せ)を進めるという意味を込めて「かっぱリング」と名付けました。



かっぱリング事業(糟屋地域) 第20回糟屋地区中学生地域交流 サッカー新人大会

- 実施日/平成29年8月26日(土)、27日(日)
- 実施場所/糟屋地区7会場(粕屋中学校・古賀北中学校・久山中学校・新宮中学校・篠栗北中学校・宇美南中学校・カプトの森グラウンド)
- 参加者/筑後地区6チーム・糸島地区3チーム・宗像地区4チーム・筑紫地区3チーム・福岡地区6チーム・佐賀県1チーム・筑豊地区2チーム・京築1チーム・糟屋地区16チーム 合計42チーム

日頃、交流の少ない筑後川流域と福岡都市圏の中学生サッカーチームが、「水」を通じた「かっぱリング事業」で交流を深め、青少年の技術向上と健全な心身の育成を図るため、糟屋地区の中学校等7会場に分かれて、交流サッカー大会リーグ戦を開催しました。また、開会式では福岡都市圏の水の約3割は筑後川に依存していることなどの説明をしました。

参加者の声 福岡都市圏

粕屋中学校
森 洸太郎さん
この前参加した大会は、筑後川に感謝し、その水を使っている仲間と交流する目的の大会でした。その中で粕屋町で使われている水道水の約3分の2が筑後川の水だと知り、その筑後川に感謝し、そして先生方、大会本部、一緒にプレーしてくれる仲間にも感謝しながら、プレーしました。その結果色々な地域の方と交流していい絆を作ることができ良い仲間ができたと思います！ありがとうございました!!!

参加者の声 筑後川流域

三国中学校
古賀 友希さん
試合に招待していただき、ありがとうございました。今回の交流を通して、福岡都市圏で使われている水の3分の1が、筑後川からの水ということを知ってとても驚きました。このことから、これからはもっと川などをきれいに使っていこうと思いました。また、サッカーでも粕屋中学校をはじめとした他の中学校の人たちとも楽しく交流することができたのでとてもよかったです。これからは、他の中学校のサッカー部の人たちとの交流を大切にしていきたいです。

担当者の声

粕屋町都市政策部上下水道課
鶴城 秀斗さん
初日の朝は小雨でしたが、2日間を通して天候に恵まれた大会となりました。開会式において、福岡都市圏で日頃使っている水の約3分の1が、また粕屋町においては約3分の2が筑後川からきていることをクイズ形式で出題したり、今大会の目的は、その筑後川流域に住んでいる選手たちと交流試合をすることなどを説明すると驚きの声があがっていました。試合では仲間への信頼と相手へのリスペクトを持ち、サッカーに取り組んでいました。一つのボールを仲間とつないでいく!まさしく「水の輪」がひろがるように「かっぱリング」を通して都市圏・流域間の交流を深める大会になったのではないかと思います。最後に、この大会開催に際してご協力いただきました関係者の皆様へ感謝申し上げます。



交流風景



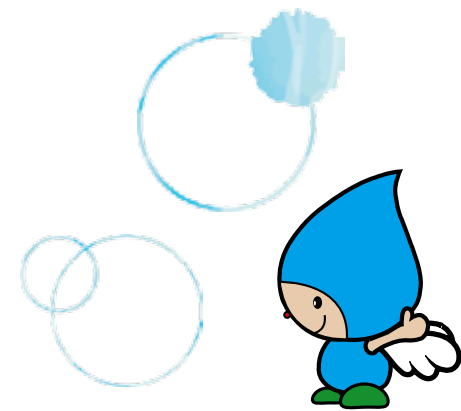
趣旨説明の前でインタビュー



1つのボールを仲間とつなぐ
(粕屋中 VS 三国中)



開会式で大会趣旨を説明



かっぱリング事業(宗像地域) 2017かっぱリング in むなかた

- 実施日/平成29年11月19日(日)
- 実施場所/海の道むなかた館、宗像大社、宗像ユリックス
- 参加者/日田市大山19名、宗像市他39名 合計58名

参加者の声

リズムダンス教室
江崎 麗さん
大山の人と交流をすることは、なくてはならないことということが分かりました。筑後川の水を分けてもらうことは、とてもありがたいことということが分かりました。これからは、水を大切に、このことをほかの人に伝えていこうと思います。

大山中学校
河津 仁子さん
今回のかっぱリングに参加して楽しかったです。かっぱリングに参加するまで宗像地域の歴史のことなど全然知らなかったのですが、今回知れてよかったです。リズムクラブのみなさんと交流して、「筑後川にて」を初めて聞いて、みんなで歌ったのが楽しかったです。ダンスや金管の発表も見れて良かったです。もう少しゆっくり見れたかったです。少しでも宗像地域のことについて知れたので、宗像地域のためにも筑後川を大切にきれいにしていこうと思いました。

担当者の声

宗像地区事務組合 総務課
権現 陽子さん

宗像の世界遺産や歴史について一緒に学ぶことで、みんな宗像地域を理解してくれたと思います。また、寒くて、風の強い日でしたが大山の子ども達が歌う「筑後川にて」の歌に合わせてリズムダンスの子ども達が踊り短い時間でしたが、素晴らしい交流になったと思います。



宗像地域と大山の子どもたちが、宗像市にて交流。宗像の世界遺産をともに学び、流域連携基金テーマソング「筑後川にて」を一緒に歌い踊ることに、水の恵み筑後川の恵みの大切さを学んだ。その後、リズムダンスの出演する宗像子ども芸術祭を鑑賞した。



宗像大社見学



「筑後川にて」の合唱に合わせて踊る



かっぱリング事業(糸島市) 第18回糸島市・日田市上津江町 「もり」の交流会

平成29年7月30日(日)に、糸島市と日田市上津江町の児童・保護者他、総勢97名で「もり」の交流会を行う予定でしたが、九州北部豪雨の影響により、止むなく中止となりました。

担当者の声

糸島市上下水道部水道課
樋口 勝哉さん
「もり」の交流会では、ダム見学や植樹を予定していましたが、九州北部豪雨の影響により、止むなく中止となりました。今回参加申込みして頂いた皆様、関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。来年度はぜひ交流会を実施し、水について考えるきっかけ作りができればと思います。



かっぱリング事業(糸島市) 森林保護交流会(下草刈り)

- 実施日/平成29年10月13日(金)
- 実施場所/大分県日田市上津江町(上津江フィッシングパーク)
- 参加者/糸島地域5名、日田市上津江地域3名 合計8名

森林保護交流会を日田市上津江町で行い、これまでに植樹を行った場所の下草刈りを無事終えることができました。



有明海クリーンアップ作戦

- 実施日/平成29年8月30日(水)
- 実施場所/柳川市久間田漁港
- 事業主催/国土交通省九州地方整備局
- 参加者/福岡都市圏職員23名

有明海沿岸4県が連携し、有明海の環境保全の大切さについて、理解を深めるための一斉清掃活動で、柳川市で行われた作業に福岡都市圏職員も参加し、早朝から作業を行いました。



かっぱリング事業(宗像地域) 平成29年度勝浦小学校・姫治小学校 かっぱリング in 姫治

- 実施日/平成29年7月26日(水)
- 実施場所/うきは市立 姫治小学校
- 参加者/うきは市(姫治小)児童10名、スタッフ30名・福津市(勝浦小)児童27名、スタッフ13名 合計80名

福津市立勝浦小学校とうきは市立姫治小学校の子どもたちが、流水を利用した小型発電所見学、澄んだ川での水遊びなど自然体験活動を通して、水資源の大切さを学び交流しました。

参加者の声

姫治小学校 6年
松隈 実咲さん
みんなで川遊びをして、いっしょに遊んだことと、すいかわりが楽しかったです。また、水の大切さについても学習できたのでよかったです。

勝浦小学校 4年
甲斐 裕菜さん
今日、水は楽しいけどこわいこともあることがわかりました。水で遊ぶ時も気をつけて遊びたいと思います。なにより、水がどこからきているのかなどがわかったので、もっと水を大切にしたいです。来年はもっと詳しく知りたいです。

姫治小学校 4年
牛島 姫那さん
わたしは勝浦小学校の子とすいかわりをしたり、川遊びをしてきずなが深まったのでたのしかったです。いっしょに心に残る思い出になりました。

勝浦小学校 4年
西田 明香里さん
川がとてもきれいで気持ちよかったです。姫治小学校の子とも友達になって、水の大切さをたくさん学べてとても楽しくて、いい経験ができました。ありがとうございます。

担当者の声

宗像地区事務組合 総務課 権現 陽子さん

発電所見学は、暑い中で階段を登るのが大変そうだったけど、子供たちは興味津々で説明を聞いていました。その後、姫治小学校の横を流れる川での川遊びやスイカ割りでは楽しそうな歓声があがり、子供たちは打ち解けあって楽しんでいました。



発電所見学



川遊び



スイカ割り

筑後川・矢部川河川美化「ノーポイ」運動

平成29年10月22日(日)に久留米市筑後川河川敷にて実施される予定でしたが、台風21号接近のため中止となりました。

森林保全支援事業

水源林整備促進支援事業

- 実施場所/日田市 うきは市
- 福岡都市圏共通の水源ダムである大山ダム(日田市)合所ダム(うきは市)の地元自治体と共同で、ダム集水区域内の水源林保全を行いました。日田市、うきは市と共に間伐を行いました。



大山ダム



合所ダム

地域振興支援事業

小学生自然体験事業「自然とふれあおう in 朝倉」

新宮町と朝倉市の小学生を参加者とし、平成29年8月23日(水)に実施する予定でしたが、九州北部豪雨の影響で中止となりました。

水源地域公共研修施設利用促進事業(施設利用助成)

下記施設を利用する福岡都市圏の団体に対し、施設利用の助成を行い、水源地域の振興に寄与するとともに、住民レベルでの交流を促進しました。

●対象施設/

施設の名称	所在地	助成者数
たかき清流館	朝倉市	52名
スノーピーク奥日田キャンプフィールド	日田市前津江町	56名

平成30年3月末現在

環境対策支援補助金交付団体

筑後川流域(有明海を含む)において、環境保全活動を行う非営利活動団体(20団体)に対して、活動費の助成を行いました。

団体所在地／活動地域	補助団体名／補助活動名(活動場所等)
福岡都市圏 ・筑後川流域 ・有明海 ・水源地域 (大山・寺内・江川・合所ダム)	<ul style="list-style-type: none"> ○福岡市水源林ボランティアの会 筑後川上流域の水源林の育成・保全と水源地域住民との交流(日田市大山町田来原) ○NPO法人 はかた夢松原の会 新流域交流連携事業 2017(筑後川流域) ○地球お守り隊 地球を守る森林保全プロジェクト(日田市中津江村)
筑後川流域	<ul style="list-style-type: none"> ○筑後川まるごと博物館運営委員会 夏の子ども自然体験活動(筑後川防災施設「くるめウス」・筑後川流域一帯) ○エコアクト筑後川 筑後川エコアクトプログラム2017「森と水を守り隊(たい)！」(筑後川中流域) ○久留米の自然を守る会 野外での自然観察会の実施、環境に関する講演会や調査の実施及び機関紙の発行配布(高良山、高良川等) ○石けんを広め自然環境を守る久留米市民の会 学習活動/石けん使用推進活動/石けん作り教室(久留米市)
有明海	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人 有明海再生機構 有明海及びその沿岸の再生・創生に向けた科学的知見・活動内容の共有化と連携の推進、有明海への市民関心の啓発 ○NPO法人 有明海ぐるりんネット 有明海と沿岸域の魅力の収集発信及び英語版での発信
水源地域	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人 ひた水環境ネットワークセンター 「水の森」水源造地事業/リバーフェスタ IN みくま川/洗たくキャラバン ○NPO法人 初島森林植物園ネットワーク 環境教育活動 田来原こども自然植物園/ミニ里山植物園整備活動
	<ul style="list-style-type: none"> ○安川地区 小石原川を美しくする会 小石原川及び野鳥川の除草作業(草刈り、漂流物・不法投棄物の撤去、立看板による河川愛護の啓発活動) ○甘木町「小石原川を守る会」 小石原川の高水敷の芝刈り・除草作業 ○秋月ふるさと倶楽部 小石原川清掃作業(安川地区)及び眼鏡橋草刈り作業(秋月地区) ○グリーンウェイブ 朝倉水源の森実行委員会 生物絶滅危惧種スイゼンジノリ保全活動/グリーンウェイブ朝倉水源の森づくり ○堀川の環境を守る会 堀川クリーンアップ活動及び年間を通じた堀川用水清掃活動
うきは市(合所ダム)	<ul style="list-style-type: none"> ○うきは市林業研究グループ うきはの森と親しむ日(森林の育成及び保全活動、林業体験イベントの開催等) ○つづら棚田を守る会 棚田の保全活動 ○巨瀬川を守る会 巨瀬川を美しくする活動(うきは地区・田主丸地区・吉井地区) ○うきは市「都市と山村交流」プロジェクト協議会 棚田の保全をととした都市住民との交流活動

※上記補助交付団体の他、福岡東部子ども劇場、あまぎ緑の応援団委員会が、朝倉市で活動を行う予定でしたが、九州北部豪雨の影響で活動が困難となり辞退されました。



災害見舞金

「福岡都市圏流域連携基金による災害見舞金支給要綱」に基づき、平成29年7月の九州北部豪雨で大きな被害を受けた筑後川水源地域及び流域の市・村に災害見舞金をお渡ししました。
[福岡県]朝倉市、東峰村 [大分県]日田市

流域連携基金審議会委員

基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため審議会を設置しています。

平成29年度審議会開催状況

回数	開催日時	議題報告	内容
第1回	H29.6.27	議題報告	平成29年度環境対策支援補助金について 平成28年度水源林整備促進支援事業の実施状況について
第2回	H30.1.10	議題報告	平成30年度流域連携基金事業(案)について 平成29年度流域連携基金事業の実施状況について

審議会委員

区分	氏名	所属・役職	任期
会長	山下 三平	九州産業大学 工学部 教授	平成28年9月1日から 平成30年8月31日まで
副会長	相模 裕一	西南学院大学 経済学部 教授	
委員	笠原 玉青	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委員	正能 照也	中小企業サポート福岡 アドバイザー	
委員	山形 紀子	西日本新聞社 TNC文化サークル久留米 事務局長	

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例

平成16年11月8日 条例第3号

- (設置) 第1条 福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等の支援事業を行って連携を図るとともに、もって相互理解を深めるため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金(以下「基金」という。)を設置する。
- (積立て) 第2条 基金として積み立てる額は、歳出予算をもって定める額とする。
- (管理) 第3条 基金に属する現金は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第7項の規定により保管するほか、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。
- (運用益金の処理) 第4条 基金の運用から生じる収益は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携事業特別会計歳入歳出予算に計上し、福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等を図るために必要な費用に充てるものとする。
2 前項の規定により必要な費用に充て、なお、剰余金があるときは、当該剰余金は、基金に積み立てるものとする。
- (繰替運用) 第5条 管理者は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法及び期間を定めて基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。
- (処分) 第6条 管理者は、基金の設置目的を達成するため必要があると認めるときは、これを処分することができる。
- (委任) 第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、管理者が定める。
- 附 則 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例施行規則

平成17年3月22日 規則第7号

- (趣旨) 第1条 この規則は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例(平成16年福岡都市圏広域行政事業組合条例第3号)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
- (対象地域等) 第2条 基金で実施する事業の対象地域は、福岡都市圏共通の水源地域及びその流域(有明海を含む。)とし、基金で実施する事業は、次の各号のいずれかに該当する事業とする。
(1) 水源地域及び流域との文化、スポーツ、植樹祭等の交流推進事業
(2) 水源地域の育林、造林、その他荒廃林対策等への支援を行う森林保全事業
(3) 福岡都市圏地域住民の総合学習及び生涯学習の場として、公共的な研修施設等の利用又は活用を支援する地域振興支援事業
(4) 森林の育成及び保全に関する活動等による環境保全への支援を行う環境対策支援事業
(5) 前各号に掲げるもののほか、その他支援が適当と認められる事業
- (運営委員会及び審議会) 第3条 基金で実施する事項に関し、事業の選定及び事業の内容、計画等を審議するため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。
2 基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金審議会(以下「審議会」という。)を設置する。
3 審議会は、運営委員会で審議した事項に関し審査を行う。
4 運営委員会及び審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。
- (規定外の事項) 第4条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、福岡都市圏広域行政事業組合管理者が定める。
- 附 則 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 附 則 この規則は、平成27年4月1日から施行する。